

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当
				橋本		池澤	設楽

報告日：令和元年 10 月 3 日

名称	鹿沼市食育推進会議
日時	令和元年 10 月 2 日（水） 午後 1 時 30 分～2 時 20 分
場所	市役所本館 2 階特別会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市食育推進本部委員（次第名簿参照）</li> <li>・農政課 橋本課長、池澤係長、設楽主任主事</li> <li>・学校教育課 宇賀神係長、鈴木主査 ・健康課 大塚課長、高橋主査</li> <li>・保育課 高橋課長、石川栄養士</li> </ul>
内容及び結果等	<p><b>【開 会】</b></p> <p>会長挨拶（副市長）</p> <p>本市の食育推進計画「かぬま元気もりもりプラン」は、現在「パートⅢ」として、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 ヶ年計画として動いている。食生活をめぐっては課題が多いが、バランスのとれた食事や生活習慣病の予防指導・乳幼児からの食育、鹿沼産の食材の P R や農業体験活動など、これまでの取組のおかげで、食育や地産地消という言葉や考え方は広く理解されるようになった。本日は昨年度の実績報告と今年度と取組を示すので、委員それぞれの立場からご意見やご要望を出していただきたい。</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成 30 年度実績報告および令和元年度重点取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1、資料 2 のとおり報告（池澤、設楽）</li> <li>・補足資料について説明（高橋、鈴木、石川）</li> </ul> <p>&lt;質問事項等&gt;</p> <p>鈴木委員）資料 2 5 ページの目標に、「早く寝る乳幼児を増やします」とあり、目標は 35.0%で、平成 30 年度の実績は 26.0%だった。早寝は子どもだけの努力では達成できない。100%親の力が必要。食育に関しては惰性的になっているように見受けられるが、今後も末永く取り組みを継続してほしい。また本日は、『「食育」とは…』という興味深い記事を見つけたので持参した。皆さんにも目を通していただきたい。</p> <p>保育課）数値だけを見ると、平成 28 年度よりも下がったが、それを悪いことと捉えず、結果を踏まえて今後どのような目標を掲げれば改善できるのか、またどのように数値が変動するかを見ていきたい。乳幼児の就寝時間は保護者の生活時間の影響や意識の問題が大きい。意識を変えるためには、なぜ子どもの早寝</p>

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

が大切なのかを知ってもらうことが必要。保育課においても食育だよりによる啓発を実施したり、各保育園・幼稚園では食育の時間に話をしてもらっている。しかしまだ全体には広がっていないので、今後も早寝の重要性の啓発を継続していきたいと思う。

加藤委員) **資料2** 15ページの「リンクティ」や「環境保全型農業」、「鹿沼農林商工連携」等について、具体的にはどのように思っているのか、また今後どのように展開していくのかを聞かせてもらいたい。

農政課) (リンクティ、環境保全型農業について、15ページ下段の※1、※2を説明。) 環境保全型農業は、いわゆる有機農業のこと。現在市内農家7名が取り組んでいるが、今後も県と連携しながら支援していきたい。

鈴木委員) 農薬を使用していない野菜から虫を見つけた時の思いは何とも言えない。リンクティや環境保全型農業に取り組むことは大切だと思うが、農薬も最低限の必要量は必要なのでしょう。

齋藤委員) 日本は農薬の安全基準がとても厳しい。使用した農薬や希釈倍率を管理しているのが生産履歴で、農家は必ず記帳することになっている。そのことを踏まえれば、安全安心なものを消費者へ届けられている。生産履歴を管理している所であれば、安全は確保されているので、安心して食べていただきたい。

鈴木委員) 学校給食の残飯量についてお聞きしたい。時間がなくて残すのか、嫌いなものがあって残すのか。

学校教育課) 毎年実施する食生活アンケートの中で、給食を残す理由を聞いている。平成30年度は以下のとおり。

(小学校) 嫌いなものがある→33.6%	(中学校) 嫌いなものがある→31.9%
時間がない→25.7%	時間がない→24%
量が多い→19.6%	量が多い→21.6%

今年の結果もほぼ同じ結果である。給食の時間は20～25分間取っているが、配膳に時間がかかると食べる時間が短くなる。そのため、各学校ではいかに配膳を早くするか工夫していただいている。

会 長) 鹿沼は本州で作れる農産物は全て作れるという恵まれた環境。そのため鹿沼市の食育計画は地産地消と合体させた計画となっている。自信を持ってこの計画を進めていきたい。その他、資料の中で気になる点があれば、いつでも事務局や各担当課へ問い合わせさせていただきたい。また、次の計画のための参考にもしていただきたい。

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

<p><b>(2)その他</b></p> <p>加藤委員) 鹿沼市では毎年、食育まつりを「にこにこフェスタ」と同時開催しているが、同時開催する意義を再検討してほしい。小さい頃からの食育は大事。食を大事にし、推進するということであれば、本来であればにこにこフェスタとは別で開催すべきではないか。例えばにこにこフェスタの前日に食育まつりを開催するなど。保護者へ話を聞くと、全ての展示に回りきれず、給食の試食ができなかった等の声も聞く。今後も同時開催するのか、別で開催するかを考えるべき時期が来ているのでは。検討していただきたい。</p> <p>保育課) 食育まつりをにこにこフェスタと同時開催する意義は、にこにこフェスタは多くの方を動員できる事業であるため、そこへ食育まつりを加えることでより多くの方に食育に触れてもらえているということ。食育まつりはにこにこフェスタの中でも大きな部分を占めている。全ての展示を回するのに時間が足りないという課題もあるので、今後は公立保育園の試食の数を増やす等、検討していきたい。</p> <p><b>【閉会】</b></p>			
配布資料	別紙資料 1、資料 2、補足資料		
次回予定			
記録者	農政課農産振興係 設楽		
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況</p> <p>(該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>			
公開・非公開の別	公開・非公開	(公開の場合) 傍聴人数	人

Main body of handwritten text, appearing to be a list or series of entries.

Second section of handwritten text, possibly a continuation of the list.

Third section of handwritten text at the bottom of the page.